

成15年3月に土浦市新図書館基本計画がまとまり、この計画の中で、蔵書については前年度の整備調査報告の結果や、蔵書数が図書館の大きな魅力であることを重視し、90万冊としたものである。内訳は開架書庫が一般図書15万冊、児童書、郷土行政資料、CD、DVD等の視聴覚資料等を加えて30万冊とし、閉架書庫はこれまで蓄積した貴重な地域資料の存在や、雑誌の利用状況を考慮し60万冊、合わせて90万冊とした。大規模な蔵書が市民の読書活動の活性化と新たな読書需要を生み出すとともに、人を集客する大きな魅力となつて中心市街地の活性化にも貢献できると考えている。

## 中心市街地活性化のため、ドリンクラリー(仮称)を開催することについて



海老原一郎議員

**質問** 今回の質問のきっかけは、愛知県豊田市で「とよた西町はしご酒」というチラシを発見したことに始まる。このイベントは、1冊チケット5枚つづりの前売り券を3千円で購入し、そのチケットを持って入ったお店では、チケット1枚でその店自慢の1品とドリンク1杯が飲めるシステムである。客は自然と町を回遊して飲み歩くという仕組みであり、店にとつてもリピーターを確保できる効果的なイベントであり、近年各地で開催されている。本市でも中心市街地活性化のため、夜の風物詩として(仮称)ドリンクラリーを開催すべきと考えるが、見解を伺う。

**(掲載以外の質問事項)**

- ・日本一住みやすい生活を保障するために、90歳以上のお年寄りの生活を、どのように把握しているか。
- ・土浦新港の活用及び桜川の水上交通の推進等のスケジュールについて
- ・水道配水管の錆び止め工事について
- ・平成21・22年施行の乙戸沼水質浄化事業について疑義あり

### 産業部長

ドリンクラリーについては、一般的に数枚つづりのチケットを参加者が購入し、参加者はマップを見ながら飲食店を数店はしごし、食べ歩きを楽しむ事業である。本市においても、これまでにない消費者と飲食事業者を結ぶ新しい企画として、一定の商業活性化等の効果が期待できるものと考えているところである。しかしながら、酒類の提供等、事業の性格から行政が主体となつて実施するものではなく、事業実施に当たっては、参加事業者や飲食店関係の組合等の協力が不可欠となることから、商工会議所等の関係機関と連携しながら事業主等への機運醸成を図るなど、側面から支援してまいりたい。

**(掲載以外の質問事項)**

- ・下水道長寿命化対策事業について



## 特定健康診査について



松本茂男 議員

**質問** 平成20年4月から、メタボリックシンドロームに着目した健康検査及び保健指導が医療保険者に義務付けられた。これは国民健康保険加入者の40歳から74歳までの方で、年に1回特定健康診査を受診し、生活習慣病を予防するものであり、異常が見つかった場合には保健指導を行うというものである。健診は無料であり非常に良い制度であるので、受診者数・受診率及び今後の対応について伺う。

**保健福祉部長** 本市が実施している特定健康保険被保険者を対象とするもので、平成20年度の特定健康診査の対象者数は、国保被保険者の2万7千265人、受診率は26.9%であり、県平均の30.7%より下回っている状況であることから、今後もホームページや広報紙など、機会を捉え積極的に受診率向上の啓発活動を実施してまいりたい。また、特定保健指導は、健診結果を受けての利用者へのお知らせとなる。生活習慣病の保健指導期間は6カ月と長期で、途中断念する方もおられることから、健康の保持増進等には保健指導が重要であることを理解していただくとともに、面接期間等、利用しやすい状況設定に努めてまいりたい。

**保健福祉部長** 本市が実施している特定健康保険被保険者を対象とするもので、平成20年度の特定健康診査の対象者数は、国保被保険者の2万7千265人、受診率は26.9%であり、県平均の30.7%より下回っている状況であることから、今後もホームページや広報紙など、機会を捉え積極的に受診率向上の啓発活動を実施してまいりたい。また、特定保健指導は、健診結果を受けての利用者へのお知らせとなる。生活習慣病の保健指導期間は6カ月と長期で、途中断念する方もおられることから、健康の保持増進等には保健指導が重要であることを理解していただくとともに、面接期間等、利用しやすい状況設定に努めてまいりたい。

**Tsuchiura City Assembly**

市議会の模様は、土浦ケーブルテレビで議会初日翌週の月曜日から、  
**午後 10 時～ 11 時まで**  
順次放送予定です

